

## 議 事 録

会 議 名	令和5年第4回東警察署協議会（定例会）
日 時 ・ 場 所	<p>令和5年11月10日（金） 午後3時30分から午後5時10分までの間</p> <p>-----</p> <p>愛知県東警察署 講堂</p>
出 席 者	<p>1 委員</p> <p style="padding-left: 40px;">田中 武司 会長 鬼頭 惠美 副会長 小澤 良一 委員 村上 純室 委員 原田 敦史 委員 太田 章徳 委員 三浦 祥子 委員</p> <p style="text-align: right;">以上7名（定数8名）</p> <p>-----</p> <p>2 警察署員</p> <p style="padding-left: 40px;">小竹署長 鈴木副署長 棚橋警務課長 森会計課長 荒井生活安全課長 嶋田地域課長 小木曾刑事課長 塩田交通課長</p> <p style="text-align: right;">以上8名</p> <p>-----</p> <p>3 有識者等</p> <p style="padding-left: 40px;">なし</p>
諮 問 事 項 等	効果的な警察官志望者の増加施策
答 申 等 の 概 要	<p>1 各種媒体を活用したわかりやすい業務内容の紹介</p> <p>2 採用試験合格者の辞退防止に向けた積極的な取組</p>
そ の 他	



会議の経過及び発言の要旨	
(エ) 大学祭のイベントでの広報	
	作成イメージ図入りのポケットティッシュを作成し、管内の大学で行われた大学祭のイベントで来場者に配布して広報を実施した。
イ 自治体及び関係機関と連携した広報活動の推進	
(ア) 区役所での広報	
	区役所のモニターに、作成イメージ図のスライドショー映像を放映して広報を実施した。
(イ) 地下鉄駅構内での広報	
	管内の地下鉄駅構内に作成イメージ図を掲示して広報を実施した。
(ウ) 防災訓練での広報	
	管内の集合住宅で行われた防災訓練の場で交番員が作成イメージ図のチラシを配布して広報を実施した。
(エ) 秋祭りでの広報	
	管内の秋祭りの会場において、来場者に作成イメージ図のチラシやポケットティッシュを配布して広報を実施した。
(オ) 街角コンサート会場での広報	
	県警音楽隊が行う街角コンサートの会場において、来場者に作成イメージ図のチラシやポケットティッシュを配布して広報を実施した。
(カ) 広報紙を活用した広報	
	広報なごや11月号に作成イメージ図を掲載した。
(キ) その他の活動における広報等	
	交番連絡協議会において、委員に対し、110番通報システムの教
	記録者
	警務係長

会議の経過及び発言の要旨			
<p>養を実施したり、巡回連絡において、パトロールカードの裏面に印刷した作成イメージ図を配布して広報を実施した。</p>			
5 諮問			
(1) 諮問事項			
効果的な警察官志望者の増加施策			
(2) 諮問事項に関する説明（警務課長）			
<p>少子化による就職適齢人口の減少や、民間企業の積極採用に伴う就職活動の早期化により、警察官採用を取り巻く情勢は極めて厳しい状況になることが予想され、新規採用者を確保できなければ、警察の執行力は大きく低下し、治安維持にも多大な影響を及ぼしかねないことになる。</p>			
<p>愛知県警察では、このような状況の中、優秀な人材確保のため、「キャリア教育」を推奨しており、愛知県教育委員会等に対して、キャリア教育の案内を行って、小・中・高校時代から警察の業務について理解や関心を持ってもらえるように努めている。</p>			
<p>しかし、採用試験に合格したとしても、採用時までには辞退する者も多く存在しているのが現状であり、いかに採用辞退者を一人でも少なく止められるかも課題となっており、効果的な警察官志望者の増加施策について伺いたく諮問事項とした。</p>			
6 協議			
委員	<p>・ 人材確保という問題は、どの職場においても非常に難しくなっている問題であり、警察のみならず公務員で受験者数が増えている官庁はないのではないかと考えている。人材確保という意味では、制度</p>		
	<table border="1"> <tr> <td>記録者</td> <td>警務係長</td> </tr> </table>	記録者	警務係長
記録者	警務係長		

会議の経過及び発言の要旨			
の問題になるが、年齢制限の幅を広げたり、女性の採用数を増やしたりすることもひとつの方法ではないかと思う。			
また、合格者が採用を辞退しているという話があるが、警察以外のところも受験していることは、以前からあると思うので、辞退防止のための取組が必要になるのではないかと思う。			
委員	<p>・ 企業に勤めていた当時、採用に関する統計に携わっていたことがあり、企業でも内定を出した後の辞退率を改善することを課題としている。内定辞退者の多くが、単純に滑り止めの受験であったり、採用されても何処に配属され、どんな仕事をするのかが不明瞭との理由で辞退していたことが非常に印象に残っている。警察にも様々な業務があると思うので、業務の内容をより分かりやすく紹介し、対象である若者に広く知ってもらうためにも、SNSなどの各種媒体を活用して広報をしていく必要があるのではないかと思う。</p>		
委員	<p>・ 前回の警察署協議会で、委員として愛知県警察本部内の通信指令室や交通管制センター等の施設見学をさせてもらったことで、警察の中の様々な業務を知ることができたが、一般的な警察のイメージは、刑事ドラマや警察24時を見て感じる「犯人逮捕」等というイメージが大半ではないかと思う。</p> <p>警察の業務には、犯人を逮捕するという仕事以外にも様々な仕事があることを知ってもらえるような広報が必要である。</p> <p>キャリア教育についての話もあったが、学校等を通じて、将来仕事に就く子供たちにも、警察の施設の見学会等を行い、警察にも様々な</p>		
	<table border="1"> <tr> <td>記録者</td> <td>警務係長</td> </tr> </table>	記録者	警務係長
記録者	警務係長		

会議の経過及び発言の要旨	
仕事があることを知ってもらえば、警察に対してもっと興味を持ってもらえるのではないか。	
委員	・ 人材確保というのは、企業でも大変厳しいものがあり、人が来るのを待つのではなく、企業側がいろいろな所に出向き、興味のある人と直接会って話をし、就職に関する不安等にも真摯に答えていくことが必要である。
警察においても、様々な機会を通じて業務の内容を分かりやすく説明するとともに、採用の辞退防止に関しては、受験者と同世代の若手警察官から直接話を聞く機会をつくるなど、受験者が共感を得られるような取組を積極的に行えば良いと思う。	
委員	・ 一般的に、新卒者と社会人経験者を比較すると、社会人経験者の方が仕事を覚えるのが早いと聞かれることがある。警察の執行力を下げないという点で考えると、制度の話ではあるが、警察官採用に社会人経験者を多く採用するのも一つの方法であると思う。
委員	・ 小さな子供たちに、将来何になりたいかを尋ねると、多くの子供たちが「警察官」と答えることも事実である。警察官採用の受験者が増えていくためには、地域住民に信頼される警察官の姿を子供たちに見せていくことが大切であると思う。
7 答申	
(1) 各種媒体を活用したわかりやすい業務内容の紹介	
(2) 採用試験合格者の辞退防止に向けた積極的な取組	
8 その他	
	記録者 警務係長

